

2024年9月30日

一般社団法人 地理情報システム学会

2024年度 GIS 教育実践アワード
－初等中等教育における GIS を活用した授業に係る優良事例表彰－
選定結果について

地理情報システム学会では、初等中等教育現場において GIS（地理情報システム）を実践的に活用した授業の普及・展開の契機とするため、授業において先導的な取り組みを実践している教員やグループ※を対象とする表彰制度を 2010 年度に創設し、今年も事例を募集いたしました。（募集期間：2024年7月1日から8月31日／主催：一般社団法人地理情報システム学会、後援：国土交通省、文部科学省、一般財団法人日本地図センター、ESRI ジャパン株式会社、一般社団法人人文地理学会、日本地図学会、公益社団法人日本地理学会、毎日新聞社）※初等中等教育現場において、GIS を実践的に活用した授業に取り組んでいる教員以外の方も含まれます。

その結果、6 件の応募があり、9 月 19 日に地理情報システム学会、国土交通省、文部科学省から構成する審査委員会を開催し、表彰事例を選定しましたので、以下の通り報告いたします。（敬称略）

【国土交通大臣賞：総合的な観点】

・中山 秀晃（東京都立戸山高等学校）

「GIS による世界気候図の作成と応用－生徒発案の主題図からの授業展開－」

【地理情報システム学会賞：GIS の効果的な活用の観点】

・野村 侑平（早稲田大学大学院博士後期課程、早稲田大学本庄高等学院・非常勤講師）

「社会的事象の地理的な見方・考え方を涵養する GIS 演習の取組 ―R と国勢調査を活用した主題図の作成を通じて―」

【日本地図センター賞：地図の効果的な利用の観点】

・太田 剛雄（大分県立日出総合高等学校）

「地理総合「生活圏の調査と地域の展望」における課題設定に向けた WebGIS (jSTAT MAP) 活用の提案」

【ESRI ジャパン賞：GIS の教育的な利用の観点】

・木谷 隆太郎（東京都立立川高等学校）

「夜間定時制高校における WebGIS を用いた地域学習と防災学習」

なお、受賞者は、2024年10月26日（土）～27日（日）に京都大学宇治キャンパスで開催される第33回地理情報システム学会研究発表大会内の企画セッション（10月26日（土）14：00～15：40 <https://www.gisa-japan.org/conferences/>）において表彰するとともに、事例発表をしていただく予定です。

以上